

第3回 生活科研究部研修会

令和5年10月25日（水）13：45～

<参観の視点>

★教師の手だてが、テーマ「身近な生活にかかわる見方・考え方を生かした生活科授業の創造～新たな気づきを生み出したり、気づきの質を高めたりする授業の工夫～」を踏まえ、子供たちの気づきに効果的であったか？

★子供たちは、新たな気づきを生み出したり、気づきの質を高めたりしていたか？

会場 浜松市立城北小学校（Aブロック）1，2，3，6部会

研究授業 あきのおもちゃまつりをひらこう「たのしいあきいっぱい」

13：45～14：30

授業者：城北小学校 第1学年 佐々木 琳 先生

活動場所：1年2組教室

研究協議 場所：図工室 14：45～16：30

(1) 授業内容

本時までに体験的な活動を心がけてきた。校外学習では、和地山公園・石人の星公園などを訪れ、自然とのかかわりの中で葉っぱの色の変化などの気づきを引き出すようにしてきた。自然に触れることで、自然物がおもちゃに代わることに気づかせ、さらに自然のかかわりから人とかかわりにつながるようにしたいと考えた。

2年生におもちゃランドに招待された経験を生かして、おもちゃ祭りの視点を「1組さんに楽しんでもらうために、店をよりよくするにはどうしたらよいか」として活動することにした。



お店側とお客側に分かれる



話し合いの視点の確認



困ったところを書き出す

(2) グループに分かれて協議した内容を全体会で共有

【良かった点】

○教室の雰囲気良かった。

○教師の事前の準備が、子供たちのスムーズな活動へとつながっていた。

- 子供たちがタブレットを使いこなしていた。日ごろの積み重ねを感じた。
- 子供たちの聞く姿勢や、話を聞くときの切り替えが身についている。
- 一人ひとりの子供への声掛けがあたたかい雰囲気できていた。
- めあての明確化ができていた。→「1組に楽しんでもらおう。」
- 学習の流れが、わかりやすく示されていた。
- リーダーを中心としての話し合いが、1年生としてとても上手にできていた。
- ICTを使って、オクリンクに学びの足跡が残るようにしてあるのが良かった。

【改善点】

- 子供たちが困っている場面を取り出すことが必要。
(お客様アンケートや動画で見せるなどで気づかせる。)
- 困り感を出すことで、話し合いの視点を示していくとよいのでは？
- 困ったことを1つ出させてから、話し合いをさせたほうがよかった。
- 「お客さんとしていくなら、どんなお店がいいか。」とお客さんの視点で活動させると改善点が出やすい。
- 「楽しい」とは、何か？を明確にしておいてから活動するのが良いのでは？
- 交流の時間をもっと増やせるといいと思った。子供同士で、気づきを話し合う時間をとりたい。
- お店屋さんとお客さんの違いを、視覚的にわかるようにしたほうがよい。(活動場所、服装など)
- ICTを使う場面の精選。今回は、子供たちにもっと話をさせたほうがよかった。

会場 浜松市立中郡小学校 (Bブロック) 4, 5, 7, 8 部会

研究授業 たんけん はっ見 中ごおり～もっと なかよし まちたんけん～

13:45～14:30

授業者：中郡小学校 第2学年 松島 知香 先生

活動場所：2年3組教室

研究協議 場所：体育館 14:50～16:30

(1) 授業内容

「はっけんした中ごおりのすてきをつたえあおう」というめあてで行われた。子供たちは、1回目の町探検で行った12か所の探検場所について、それぞれスライドや画用紙にまとめ、グループで発表し合った。発表の流れは、①発表する⇒②質問する⇒③聞いて気付いたことを書く。クイズや写真を取り入れながら、分かりやすく友達に伝えた。

授業の様子



(2) グループに分かれて協議した内容を全体会で共有

【良かった点】

- 自分の行った場所について、さらに知りたいという思いを持つことができた。
- 中郡小学校で大切にしている5つの視点「見る」「聞く」「かぐ」「さわる」「かんじる」で質問できていた。
- 質問し合う活動を通して、新しいことを知った子が多く見られた。
- 友達の発表を聞いて、知ったことや気付いたことをワークシートに多く書けていた。
- 気が付いたことや初めて知ったことが多く上がっていて、よかった。
 - ・「コンビニにある商品の種類の数や店舗の数に驚いた。」
 - ・「〇〇で売っているバナナが中郡小の給食にも出ていると初めて知った。」
- 振り返りに「はじめて知った!」「もっと知りたい!」という内容がたくさん書かれていた。

【改善点】

- 互いの発表を通して、中郡のすてきを子供たちが知ることができた。そこから新たな気付きを生み出すことができるような質問を、教師が子供に投げかけることができたなら、さらに気付きが深まった。それが、さらに学ぶ意欲につながる。
- 中郡の「すてきなもの」に気付くことができた子供は多かったが、そこから働く人の思いに気付かせていきたい。「もの」だけでなく「人」にも注目できるような手立てもあるとよい。

グループ協議の様子

